

授業科目 老年看護学方法論Ⅲ	担当講師名	単位数 1	時間数 15	履修年次・前/後
	専任教員名			2年次/前期
講義のねらい	1 健康障害をもつ老年期の対象とその家族に対する看護上の問題を解決するための看護の方法を修得する。			
授業形態	講義・演習		教科書	担当及び時間
講義内容	1 認知症の看護 1) 認知症の種類と評価方法 2) 環境と行動・心理症状 3) コミュニケーションに中心をおいた対応 (1) 対応の原則 (2) コミュニケーションの技法 (3) 困難な症状に対するコミュニケーションの技法 4) 療養環境の調整 5) 急性期一般病床での援助 6) 家族への支援とサポートシステム		①②	5
	2 看護過程の展開 1) 誤嚥性肺炎患者の看護 (1) 生活行動モデル (2) 機能の維持・回復 (3) 日常生活・セルフケアへの援助 (4) 家族への援助		①②③	10
教科書	① 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 (医学書院) ② 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 (医学書院) ③ 生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図4版 (医学書院)			
参考文献	1 ナーシンググラフィカ 老年看護学1 高齢者の健康と障害 (メディカ出版) 1 NANDA-I 看護診断 定義と分類(医学書院) 3 必要に応じて資料を配付する。			
評価方法	・講義内容1は終講試験 100 点、 2はレポート課題 60 点、試験 40 点で評価			
備考欄	・基礎看護学概論Ⅱは受講していること ・疾病治療論Ⅱ、精神看護学方法論Ⅱは受講していること ・教員とのコンタクトは授業終了後又は終講時に案内する。			